

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	浄水場等更新事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	水道工務課			
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開		主管課長	矢幡 哲夫			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	給水を受ける市民	意図	施設の浄水機能及び配水能力を適切な状態に保持する。
事業内容	・ 既設浄水場の浄水施設、配水施設の更新の実施。			
事業開始から現在までの状況変化	既設浄水場は、供用開始後30年以上が経過し、施設の老朽化による機能不全が生じていたことから、計画的に施設の更新を行う。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		浄水場改良率	83.70	92.80	100	%	↑↑↑	更新済施設の累計 / 更新を要する施設数
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度	・ 江戸川台浄水場1号配水池・塩素混和池・浄水施設等改修工事が完了した。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		40,130,040	352,411,000	542,045,680				
事業費(b)(円)		30,672,000	341,323,200	533,304,000				
うち一般財源		30,672,000	341,323,200	533,304,000				
職員給与費(c)(円)		9,458,040	11,087,800	8,741,680				
人役・職員(人)		1.18	1.56	1.04				
人役・再任用(人)		0.24	0.16	0.74				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	・ 江戸川台浄水場の1号配水池・塩素混和池・浄水施設等改修工事を完了させる。	取組の課題	・ 市内4浄水場の更新事業が完了した。今後は適切な維持管理計画を進める必要がある。
今年度(H29)に実施した取組	・ 江戸川台浄水場の1号配水池・塩素混和池・浄水施設等改修工事を完了した。	今後(H30以降)の改善計画	・ 将来の水需要予測との整合を図る。